

和歌山県公立大学法人評価委員会による評価結果の  
反映状況

令和7年7月

公立大学法人 和歌山県立医科大学

第3期中期目標期間における業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における同一指摘状況
1	第1-1 令和5年度の新卒者における医師国家試験合格率が87.9%と中期計画で定める目標値(96%)を大きく下回っており、その要因についての分析内容を踏まえ、学生個々の実情を積極的に把握し、より効果的な対応を講じられたい。	進捗状況管理書、計画8番参照  <b>【医学部】</b>	
2	第1-1 令和6年度から大学院医学薬学総合研究科を開設するにあたり、シンポジウムや広報活動等により入学志願者の確保を図ったが、令和5年度においては修士課程の定員14名に対して入学者は6名、博士課程の定員42名に対して入学者は34名と依然として定員を大きく下回る状況が続いているため、入学者確保につながる抜本的な対策を検討されたい。	進捗状況管理書、計画9番参照  <b>【医学薬学総合研究科】</b>	R4 評価 見込評価 R3 評価 R1 評価
3	第1-1 大学院医学研究科の博士課程入学者の大部分が社会人学生で長期履修制度を利用しているなどの現状において、これまでも課題とされてきた大学院生における十分な研究時間の確保や修学環境・体制の充実を図られているかを改めて実態調査し、大学院教育・研究体制のあるべき方向性を検討のうえ、課題解決に向けた積極的な取組を講じられたい。	医学薬学総合研究科の開設にあたり、仕事と学問を両立し、学修・研究に専念できる環境の整備や学位取得に係る支援体制の充実が重要と考え、制度の見直し等に取り組んだところである。新たな取組として、すべての講義において、リアルタイムでの遠隔配信を導入することにより、仕事等のため大学に来られない学生や遠方の学生が職場や自宅で講義を受講できる環境を整備するとともに、長期履修制度の対象者の拡大や申請時期の見直しにより、より利用しやすく、研究時間の確保につながる制度に改善を行っている。実態調査については、今後、医学薬学総合研究科における実態を把握するため、行う予定である。  <b>【医学薬学総合研究科】</b>	見込評価 R3 評価 R2 評価 R1 評価 H30 評価
4	第1-1 競争的資金への応募率について、令和5年度においては84%と中期計画	競争的資金への応募率向上に向け、科研費に応募しなかった理由についてアンケート調査を行い、要因を分析している。やむを得ない事情がないのに応募しなかった者に対しては、所属長を通じて意識改革を促すようにしている。	R4 評価 見込評価 R3 評価

	<p>で定める目標値の100%を下回っている。研究基盤を活性化するために、研究体制・環境の充実を図るとともに、各教室及び研究者個人の研究業績の評価に向けた具体的な取組を検討し、医学部基礎系の研究推進に関する積極的な対策を講じられたい。</p>	<p>&lt;参考&gt;          応募率（全体） 83.0%（436名中362名）          うち医学部基礎系講座 96.2%（53名中51名）</p> <p>医学部基礎系の研究推進のため、特別に予算措置して共同利用施設に最新の研究機器を整備した。今後それらの機器を活用した研究成果が出てくることが期待される。総合的な業績に基づく各教室及び研究者個人の業績評価に向けた検討をしていくにあたり、業績評価の実施方法の一つの参考となるよう、従来から実施している「次世代リーダー賞」、「若手研究奨励賞」において、代表的な業績のみならず、その業績に至る過程も含めた総合的な評価により審査を行った。</p> <p style="text-align: right;">【研究推進課】</p>	<p>R2 評価 R1 評価</p>
5	<p>第1-1          研究成果の民間事業者等への技術移転について、令和2年度において特許を持つマウスピース用吸引具の民間技術移転を1件実施した。更に令和5年度においても民間企業との共同研究による発明について、1件技術移転を行っているが、中期計画で定める目標値（6件）を大幅に下回っているため、技術移転を実現していくために、研究基盤である研究体制・環境の充実、医学部基礎系の研究推進について検討されたい。</p>	<p>進捗状況管理書、計画58番参照</p> <p style="text-align: right;">【研究推進課】</p>	<p>R4 評価 見込評価 R3 評価</p>
6	<p>第1-1          県内における安定した医療提供体制を堅持するため、様々な取組を実施しているが、県内における医師の地域偏在、診療科偏在の解消に向けて、地域医療機関からの医師派遣要請に対して大学内で一元的に取りまとめたうえで、各講座から適正な医師派遣を実施する体制を構築するなど、県及び地域の拠点病院等と連携のうえ、更なる積極的な対策を講じられたい。</p>	<p>進捗状況管理書、計画63番参照</p> <p style="text-align: right;">【地域医療支援センター】</p>	<p>R4 評価</p>
7	<p>第1-1          令和4年度までの各年度における財務状況は良好であるが、物価の上昇などの影響もあり、令和5年度は経常</p>	<p>進捗状況管理書、計画80番～82番参照</p> <p style="text-align: right;">【経営企画課】</p>	

	<p>損失を計上した。今後も厳しい経営環境が続くことが想定されており、今後の財務改善の道筋を具体的に定めたい。うで、経費の抑制や寄附金の一層の獲得に努められたい。</p>		
13	<p>第2-1-(2) 臨床研究中核病院の承認には至らなかったが、引き続き質の高い先進的医療を提供するため、医師主導治験などの臨床研究等に対する総合的な支援や研究の活性化に関する取組をより一層推進されたい。〈附属病院本院〉</p>	<p>進捗状況管理書、計画 20 番、23 番参照  【臨床研究センター】</p>	<p>R4 評価 見込評価</p>
14	<p>第2-1-(3) 待合番号表示アプリの導入や健康管理に関するビデオ配信により、待ち時間による患者の負担感の軽減を図っているとともに、「診療時間短縮を検討するタスクフォース」を立ち上げ、診療待ち時間を短縮する取組に対し評価する一方で、診察待ち時間の満足度調査については、中期計画で定める目標値（18.0%）を中期計画期間中達成することができていないため、画一的な対応ではなく、各診療科の実情に応じた対策を検討されたい。〈附属病院本院〉</p>	<p>進捗状況管理書、計画 29 番参照  【医事課】</p>	<p>R3 評価 R2 評価</p>
15	<p>第2-2-(1) 採用臨床研修医の研修終了後の県内定着率について、令和元年度では90.4%と中期計画で定める目標値（89.1%）を上回るとともに、令和4年度までは80%台後半以上の高い水準を保っていたが、令和5年度においては、75.9%と目標値を大きく下回ったことから、県内定着率が改善するよう対策を講じられたい。</p>	<p>進捗状況管理書、計画 51 番参照  【地域医療支援センター】</p>	

評価委員会による令和4事業年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における同一指摘状況
4	<p>第1-1 令和4年度の離職率(派遣除く)は、年度計画で定める目標値 5.5%に対して、実績値は 8.9%であり依然として目標値と実績値が大きく乖離している状況である。新型コロナウイルス感染症による全国的な影響でもあるが、看護師の離職率、特に、看護師として働き始めた初年度の離職率が高いことは問題である。法人全体として詳細な要因分析を行ったうえで、外部の専門家等の意見も参考に有効な対策を講じられたい。</p>	<p>進捗状況管理書、計画 75 番参照</p> <p style="text-align: right;">【総務課】</p>	<p>見込評価 R3 評価 H30 評価</p>

評価委員会による第3期中期目標期間の終了時に見込まれるに関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における同一指摘状況
11	<p>第2-1-(3) がんや認知症に関して、大学として具体的な目標設定を定め、アウトカムをどのように評価していくかを検討されたい。また、和歌山県全体を俯瞰して、貢献目標及びアウトカムの評価手法についても検討されたい。</p>	<p>がん診療に関しては、重症がん患者や難治性がん患者等にも数多く対応していることから、「患者の予後の改善」という視点における適切な評価が難しく、認知症診療についても、地域の医療機関と連携して診療を実施している関係上、当院単独でのアウトカム評価が困難であるため、引き続き、適切な評価方法について検討する。</p> <p style="text-align: right;">【経理課】</p>	

評価委員会による令和3事業年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における同一指摘状況
16	第2-4-(2) 外部研究資金の更なる獲得を目指すとともに、プロジェクトを精査したうえで、クラウドファンディング等の手法も積極的に取り入れ、外部資金の獲得に取り組まれない。	クラウドファンディングの実用化に向け、各種規程の整備やクラウドファンディングサービス事業者との契約締結を行い、外部資金獲得の体制を整えた。  【総務課】	

評価委員会による平成30事業年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における同一指摘状況
1	第1-1 大学院医学研究科の入学定員充足率が依然として低い。また、論文発表数、国際学会発表数が年度計画で定めた目標値を下回った。	進捗状況管理書、計画9、10番参照  【医学薬学総合研究科】	